

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌東苗穂校第2

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		出来るだけ療育スペースを広くするレイアウトを実践	
	②	職員の配置数は適切である	○		法令遵守を徹底しております。	送迎業務があるため、もう1名程度増員されると余裕が出る。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		階段での転倒事故が無いよう柵の設置等を行っております。	自由に遊べる広い空間の確保が必要。 3階建て施設のためエレベーター設置義務はないですが、管理会社へ手摺等の設置要望を検討。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎朝の清掃により環境維持を行っております。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している		○	日常的に努力しております。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケートはもとより、日常的に頂くご意見を尊重するよう配慮しております。	本アンケートの記載を参考に改善を検討いたしております。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		本アンケートをHPにて公表。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	未実施です。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		会社独自の定例研修をはじめ、自己研鑽に関する休暇取得も可能です。	
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		事業所内全職員参加による会議を実施し、計画を作成いたします。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		会社共通書式を活用しております。	

の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		目標達成可能な目標設定を実践しております。		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		目標達成に向けた具体的療育を実践しております。		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		保護者、職員の情報共有を実践しております。		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		利用者個々の状況を的確に		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		イベントや不定期での小集団療育を実施しております。	定期的な小集団療育の実施を計画。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼で必要事項の情報共有を行っています。		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		事故防止の観点からもその日のうちに反省点や改善必要点を共有しております。		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援記録の詳細入力を徹底しております。		
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		最低限、期間内に見直しを行い、更に必要に応じ早期見直しも行います。		
	関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		必要な際は出席しております。	会議開催機会が少ないですが、関係機関への働きかけをして参ります。
		㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		特に幼稚園・保育園との密接な関係構築	
		㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		対象児童を受け入れておりませんが、提携医との連絡は取れる体制が出来ております。	
		㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		対象児童を受け入れておりませんが、提携医との連絡は取れる体制が出来ております。	
㉕		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		当該児童に関する情報共有を行っております。 ※保護者の承諾が前提となります。		
㉖		移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		当該児童に関する情報共有を行っております。 ※保護者の承諾が前提となります。		

	⑳	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		連絡を取り合うことが出来る体制づくりが出来ております。	研修案内が来た際は、出来る範囲で参加してゆきます。
	㉑	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		自由参加のイベントを毎月開催しております。	出来るだけ広く周知して参ります。
	㉒	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		ブログ等で広く周知しております。	SNSの活用を検討しております。
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		フィードバックの徹底を進めております。	
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		対面でのフィードバックをしておりますが、お会いできない方へも電話や連絡帳で情報共有を徹底しております。	
保護者への説明責任等	㉕	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に詳細に説明しております。	
	㉖	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		6か月以内の更新と説明を徹底しております。	
	㉗	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		その都度の相談、または事業所内相談支援を行っております。	
	㉘	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		不定期の茶話会の実施。	定期的開催の推進
	㉙	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		個々の案件に対し、精神性の対応を実践しております。	
	㉚	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		原則、「クラ・ゼミ通信」月1回発行しております。	
	㉛	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵付き書庫での保管を徹底しております。	
	㉜	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		常に配慮をしております。	
	㉝	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		イベントの案内をしております。	もっと広くクラ・ゼミを知っていただく周知を心がけます。
	非常時等の	㉞	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルにより周知を徹底しております。
㉟		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年間3回の各種避難訓練を実施しております。	

対 応	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に既往症や対応について確認しております。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		基本的に食物提供なしですが、飲食を伴う行事に伴い確認を徹底しております。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		全職員が閲覧できるファイリングとPCスペースに共有しております。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		社内に管轄する委員会を設置し、研修も必ず実施しております。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		防止研修と保護者への説明を確実に実施しております。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌東苗穂校第2 保護者等数（児童数）：10 回収数：9 割合：90%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	0	0	0	記載なし	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	7	0	0	2	記載なし	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	2	0	1	記載なし	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	0	0	1	記載なし	
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	9	0	0	0	記載なし	
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	0	0	1	記載なし	
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	0	0	0	記載なし	
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	8	0	0	1	記載なし	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	0	0	3	記載なし	
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8	1	0	0	記載なし	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	8	0	0	1	記載なし	
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	5	0	0	4	記載なし	

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9	0	0	0	連絡帳で細かく説明をしてくれるのが安心	今後も丁寧に対して参ります。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	0	0	0	記載なし	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1	1	6	同じ悩みを持つ父母の交流があっても良いかも知れない。	気軽に話が出来て保護者相互の心の開放が出来る茶話会等も企画して参ります。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	7	0	0	3	記載なし	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9	0	0	0	記載なし	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5	0	0	4	イベント情報がされているのは有り難い。	個人情報(写真等)に配慮しながら、多くの情報を発信して参ります。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	7	0	0	2	記載なし	
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	4	1	0	4	記載なし	
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	1	0	3	記載なし	
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	9	0	0	0	クラ・ゼミに通ってからの成長に感謝しています。	今後ご利用者様の満足と成功体験増加を目指した療育を続けて参ります。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	9	0	0	0	記載なし	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。